

令和6年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	水の公園福島潟 菱風荘			
管理者名	愛宕商事株式会社	指定期間	令和4年4月1日	～ 令和7年3月31日
担当課	新潟市北区産業振興課			
所在地	新潟市北区前新田乙364番地 1			
根拠法令	都市公園法			
設置条例	新潟市都市公園条例			
施設概要	- 敷地面積 10,163㎡ - 建築面積 本館：428㎡（木造2階建て）管理棟兼宿泊施設、宿泊可能人数24名 体験棟：294㎡（木造平屋建て）研修施設 宿泊棟：一般39㎡×6棟・身障者46㎡×1棟（木造平屋建て） 宿泊可能人数6名／棟 - 設置年月 平成12年10月			

施設設置目的
宿泊及び研修施設
管理・運営に関する基本理念、方針等
○水の公園福島潟来園者に宿泊・研修の場を提供することを目的として運営する。 ○学校行事や子ども会等の福島潟自然体験活動を通して、次代を担う子どもたちの心身の健全な発達を促す拠点施設であるとともに、福島潟の自然観察や写真撮影、観光等に訪れた人々の活動の拠点施設となるよう運営する。 ○優良な宿泊・研修環境の提供及び福島潟の自然体験活動を生かした各種自主事業の展開により、サービスの向上を図り、子どもたちをはじめとする多くの人に福島潟の豊かな自然に親しんでもらうことで、賑わいの創出と地域の活性化を図る。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	目標利用者数の達成	宿泊者5,514人 日帰者5,090人(自主事業含む)	宿泊者5,514人 日帰者5,047人	B	ほぼ目標に迫る実績だった。
	目標稼働率の達成	宿泊稼働率42.05% 日帰稼働率3.39%	宿泊泊57.27% 日帰2.25%	B	宿泊が好調だった。
	各サービス向上への取り組み	利用者アンケートの実施	適正に実施	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	適正に実施	B	
財 務	設置目的に合致したサービス提供	利用推進プランや自主事業企画を3件以上実施	佐渡旅企画に参加、体験イベント等20回実施	A	
	経営の安定化	利用料金17,587千円以上	22,327(千円)	A	
	他施設との連携に対する理解	水の公園福島潟の近隣施設と福島潟の保全やPRについて協議会、共同事業を実施	福島潟協議会に参加、福島潟自然文化祭、福島潟エコプロジェクトを実施	B	
業 務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なものは即日、時間を要するものは1週間以内に対応	改善勧告なし	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生0件	1件救急車を呼び即時対応した(女性が玄関前階段で転倒し骨折)	C	事故が発生したものの適切に対応した。
人 材	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適正に実施	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年4回以上実施	ミーティング研修4回、スキルUP研修4回実施	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適正に実施	B	

【評価基準】 A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている B: 要求水準(評価指標)が達成されている C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
--

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)
令和6年度は春先から秋口まで例年を上回る利用があり年間を通して利用人数、売り上げとも大きく伸び、大変充実した1年でした。利用動向はグループ活動や大学やスポーツ団体などの活動が活発になってきたという印象があり、菱風荘でも一旦コロナで途絶えたお客様も再びご予約が入るなど嬉しいご予約が沢山ありました。 好調だった今期の収益の一部を、ベッド7台入れ替え、冷蔵庫5台入れ替えの経費に当てることができました。いずれも経年し、ベッドなどは補修しながら使っていましたが、お客様の快適度向上に繋げることができました。指定管理運営更新にあたって良いスタートになりました。 今後は平日の利用推進を目標に、日帰り利用を利用しやすくする工夫や会社の研修などで平日利用できる研修を案内したいと思います。また、ビュー福島潟と連携し福島潟の素晴らしさを発信していきたいと思います。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)
宿泊稼働率・宿泊者数ともに目標を達成し、実績値は3年連続で前年度を上回っている。団体旅行が戻りつつあり、コロナの影響を払しょくできている。アンケート記載内容からは、価格が低く抑えられている点、福島潟・自然環境の良さを実感、コテージで快適にすごせたといった声をいただいている。インターネット上の口コミでも高い評価を得ており、自発的に菱風荘のよさを投稿してくださる多くのファンに支えられていると感じた。ビュー福島潟との連携や自主事業を通じて、福島潟の関係団体や地域との結び付きを深め、好循環を生み出してもらえるよう期待する。